



## 2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月8日

上場会社名 株式会社クラダシ 上場取引所 東  
コード番号 5884 URL <https://corp.kuradashi.jp/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 関藤 竜也  
問合せ先責任者（役職名） 取締役執行役員 CFO コーポレート本部長（氏名） 高杉 慧（TEL）03-6456-2296（代表）  
四半期報告書提出予定日 2024年2月8日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）  
(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年6月期第2四半期の業績（2023年7月1日～2023年12月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	1,356	—	17	—	19	—	13	—
2023年6月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2024年6月期第2四半期	1.30		1.23					
2023年6月期第2四半期	—		—					

(注) 当社は、2023年6月期第2四半期において四半期財務諸表を作成していないため、2023年6月期第2四半期累計期間の数値及び対前年同四半期累計期間の増減率並びに2024年6月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	1,490	1,038	69.7
2023年6月期	1,342	1,024	76.3

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 1,038百万円 2023年6月期 1,024百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2023年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年6月期	—	0.00	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年6月期の業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	3,500	20.3	45	—	45	—	80	—	7.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年6月期2Q	10,763,358株	2023年6月期	10,763,358株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年6月期2Q	—株	2023年6月期	—株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年6月期2Q	10,763,358株	2023年6月期2Q	—株
------------	-------------	------------	----

(注) 当社は、2023年6月期第2四半期において四半期財務諸表を作成していないため、2023年6月期第2四半期の期中平均株式数は記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症にかかる制限が緩和されたことにより、経済活動の正常化と回復の兆しが見られはじめました。一方で、不安定な国際情勢、資源価格の高騰、為替相場の大幅な変動による影響、食品の一斉値上げの影響など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、更なるユーザー体験の向上を目指したシステム及びアプリへの開発投資や、業容拡大に耐える強固な事業基盤の構築・新規事業への拡大のための積極的な人材登用、また、SNSを利用した広告宣伝活動への投資を継続的に行っております。また、当社のソーシャルグッドなビジネスモデルに共感するエシカル志向のユーザーへの認知度・利用率を高めるため、地方自治体との提携・マスメディア向けのイベント等の広報活動、会員のアクティブ率向上施策として、会員限定クーポンの発行、メールマガジン・SNS等を利用した販促活動を行っております。その結果、当第2四半期会計期間末の累計会員数(※1)は、前事業年度末の477,552名から515,952名に増加し、当社に商品を納品する累計パートナー企業数(※2)は、前事業年度末の1,428社から1,637社に増加しております。当四半期累計期間における事業環境は、第1四半期における食品値上げによる外部環境の悪化の影響が作用したものの、第2四半期における改善傾向はあり、その結果、月間UU(※3)は、前事業年度末の21,117名から24,923名に増加しました。また、コストコントロールや収益の複線化による限界利益率(※4)の向上や広告宣伝費の効率的な投下により、取引量の拡大に備えた強固な事業基盤の構築を進めております。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,356,642千円、営業利益は17,836千円、経常利益は19,963千円、四半期純利益は13,952千円となりました。

なお、当社は「Kuradashi」運営事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(※1) 四半期会計期間の末日における会員登録者数

(※2) 四半期会計期間の末日における取引実績のあるパートナー企業数

(※3) 月間UU(UniqueUserの購入ID数)の四半期(3ヶ月)の平均数

(※4) 限界利益(売上高から売上原価及び配送料等の変動費を控除した金額)を売上高で除して算出

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は1,490,223千円となり、前事業年度末と比べ147,507千円増加となりました。

流動資産は、115,708千円増加し、1,347,059千円となりました。主たる要因は、売掛金が30,996千円増加、商品及び製品が54,933千円増加、未収入金が23,143千円増加したことによるものであります。

固定資産は、31,799千円増加し、143,163千円となりました。主たる要因は、無形固定資産が35,120千円増加したことによるものであります。

##### (負債)

当第2四半期会計期間末の負債は451,965千円となり、前事業年度末と比べ133,555千円増加となりました。

流動負債は、142,600千円増加し、422,893千円となりました。主たる要因は、買掛金が135,227千円増加、未払費用が10,185千円増加、未払金が9,255千円増加したことによるものであります。

固定負債は、長期借入金が9,045千円減少し、29,072千円となりました。

##### (純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は1,038,258千円となり、前事業年度末と比べ13,952千円増加となりました。主た

る要因は、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が13,952千円増加したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ8,021千円増加の1,056,878千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は72,326千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益19,963千円、売上債権の増減額が30,996千円増加、棚卸資産の増減額が54,158千円減少、仕入債務の増減額が135,227千円増加したことによるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は38,867千円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出38,756千円によるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、減少した資金は25,437千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出12,567千円によるものであります。

## （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の業績予想につきましては、2023年8月10日に公表しました「2023年6月期決算短信」で公表しました業績予想から変更はありません。なお、業績予想は、食品値上げによる当社事業への影響が当第1四半期会計期間まで続く前提に基づいて業績予想を作成しており、当第2四半期会計期間以降は回復を見込んでおりますが、現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,048,856	1,056,878
売掛金	37,071	68,067
商品及び製品	115,458	170,391
原材料及び貯蔵品	1,842	1,067
前払費用	14,254	13,457
未収入金	13,868	37,011
その他	-	186
流動資産合計	1,231,351	1,347,059
固定資産		
有形固定資産	14,543	12,199
無形固定資産	72,951	108,072
投資その他の資産	23,869	22,891
固定資産合計	111,364	143,163
資産合計	1,342,715	1,490,223
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	87,193	222,420
1年内返済予定の長期借入金	25,808	22,286
未払金	26,405	35,661
未払費用	102,972	113,158
未払法人税等	12,357	10,498
契約負債	7,037	3,698
預り金	10,900	7,155
その他	7,618	8,014
流動負債合計	280,293	422,893
固定負債		
長期借入金	38,117	29,072
固定負債合計	38,117	29,072
負債合計	318,410	451,965
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	310,080	310,080
資本剰余金	915,969	915,969
利益剰余金	△201,744	△187,791
株主資本合計	1,024,305	1,038,258
純資産合計	1,024,305	1,038,258
負債純資産合計	1,342,715	1,490,223

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	1,356,642
売上原価	690,320
売上総利益	666,321
販売費及び一般管理費	648,485
営業利益	17,836
営業外収益	
受取利息	0
寄付金収入	1,464
その他	763
営業外収益合計	2,227
営業外費用	
支払利息	101
営業外費用合計	101
経常利益	19,963
税引前四半期純利益	19,963
法人税、住民税及び事業税	6,010
法人税等合計	6,010
四半期純利益	13,952

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	19,963
減価償却費	10,251
受取利息及び受取配当金	△0
支払利息	101
売上債権の増減額 (△は増加)	△30,996
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△54,158
仕入債務の増減額 (△は減少)	135,227
その他	4,401
小計	84,789
利息及び配当金の受取額	0
利息の支払額	△101
法人税等の支払額	△12,362
営業活動によるキャッシュ・フロー	72,326
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△111
無形固定資産の取得による支出	△38,756
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,867
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△12,567
株式の発行による支出	△2,261
上場関連費用の支出	△10,608
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,437
現金及び現金同等物に係る換算差額	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,021
現金及び現金同等物の期首残高	1,048,856
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,056,878

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、「Kuradashi」運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(多額な資金の借入)

当社は、2024年1月19日の取締役会において、今後の成長投資に向けた機動的な資金調達手段の確保並びに財務基盤の更なる強化を目的とする借入及び当座貸越契約を行うことを決議いたしました。

借入の概要は以下のとおりであります。

(1)借入先	株式会社商工組合中央金庫
(2)借入金額	100百万円
(3)借入金利	基準金利＋スプレッド
(4)借入実行日	2024年1月31日
(5)借入期間	5年間
(6)返済方法	1か月毎元金均等返済
(7)担保の有無	無し

当座貸越契約の概要は以下のとおりであります。

なお、当座貸越契約の締結に伴い、現在みずほ銀行、三井住友銀行、商工組合中央金庫、東日本銀行と締結している契約極度額は総額235百万円から405百万円に拡大します。

- |          |                        |
|----------|------------------------|
| (1)借入先   | 株式会社みずほ銀行              |
| (2)借入極度額 | 200百万円                 |
| (3)契約実行日 | 2024年1月31日             |
| (4)契約期間  | 2024年1月31日から2024年7月31日 |
| (5)担保の有無 | 無し                     |